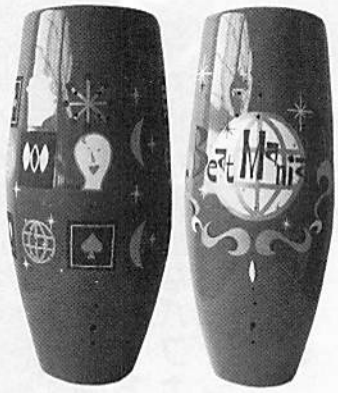
アフターミッドナイト・⑮
「ガーデンの夜は更けて」
——上野宏介

昨年末のクラブフェイム主催の『タイム・ストッパーナイト』は非常に盛り上りましたね。さすがにスーパージェッターのかっこうで来た人こそいませんでしたが、老若男女、踊り狂ってよかったじゃありませんか。クラブで盛り上がる絶対条件の一つとして、誰も未だ踊ってない時間に、一番に踊ってやろうって気合いの入った連中がいることは重要です。私も昔は（未だイラストレーターとして食い始めてない頃）親友のサントロペ・チュンと、クラブに行っては、競って一番に踊り狂ったものでした。今回も、美川憲一をぐっと若くしてカワイクした男の子や、シースルーのパワフルな女の子が、率先して踊り出したので皆も続いて盛り上がり出していました。DJも、アニメの主題歌ばかりかける人や、編集長の色物関係の選曲や、正統派クラブプレイをするガーデンのDJや、私のように、ダンスミュージックごった煮的なのや、今風ジャズファンク系3人組〝ザウンド・インポッシブル〟等、一晩で色々楽しめる嗜好になっていました。私のDJプレイの前など、スウィート・ソウルの渡辺大之伸氏がソウルバラードを歌って受けていましたが。まさにタイム・ストッパー、ここは20年前の京都ではないか!!ウエストロードやサウス・トゥ・サウスの全盛期を思い起こさせてくれました。私がプレイした時も〝ムジカ・デル・アンディー〟の連中なんかも踊り狂ってくれて、とても楽しかったです。早く第2回が実現すればいいのにと思ってます。

さて、いつもなら京都に帰った時は、友人達と会ったり、〝クック・ア・フープ〟（ここのマスターは大学時代の友人）に飲みに行ったりするのですが、今回は、〝里帰り〟的に帰って一泊しただけで、その夜もタイム・ストッパーナイトだったので、特に誰ともしめし合わせて会いませんでした。しかし、レコード屋めぐりと、古着屋めぐりは少しして来ました。実家が北大路新町なので、まず近くにある〝雅壱番館〟でレコードチェックをしました。2年前頃まで、この店にはラテンや変わったEP盤が結構あったのですが、最近はそういうのが減ってきているようで、特に発見はなく残念。次に〝ヴィレッヂ・グリーン〟に行きました。この店は京都唯一、壁に〝リズキン〟のジャケットの貼ってある店で、品揃えもグーで3枚買いました。次に東山三条にある〝太陽〟というEP盤が特に豊富にある店に行きましたが、特にコレという物と出会わず残念。古着屋の方は、京都の情報があまりなかったのですが、タイム・ストッパーナイトに〝GO-FEET〟という古着屋で働いている女の子が来ていたので店に寄ってみたのですが、これが大発見!!仲々、私好みの品揃えで、京都の古着屋で燃える店を発見できて大満足でした。60'S〜70'Sのパンツからシャツまで、特に靴の品揃えはバッチグーでした。この店は要チェックです。さらにこの日、私はパリで買ったお気に入りの底の厚い70'Sのシューズをはいていたのですが、その底がはずれてしまい、ボンドまで貸してもらって、ありがとうございました。勿論、〝スーパーセンチメンタル〟にも挨拶かたがた寄りました。ここの店の子達もタイム・ストッパーナイトに来てくれました。



第1弾

第2弾

※東京スカパラダイス・オーケストラ、リーダーのアサchanに依頼され筆者が描き上げたコンガのペインティング

さて、駆け足で京都を過ごした私は、東京に戻り、その足でスキーに行きました。スキー場のリゾートマンションに部屋を持っている友人を発見し部屋を貸してもらったので、新年をスキー場で迎えました。持つべきものは、お金持ちの知り合いだなあと、つくづく感謝。普通、スキー場で年越しなんていうと、雪の間から初日の出を拝む、なんてロマンチックなものを想像しますが、私達の場合、一緒に行った連中がバクチ好きの連中ばかりだったので、年が越すのも忘れてカードをやって、酒をかっくらってました。しかし、このカードで私は大勝し、今年はギャンブル運は抜群で、年末ジャンボの一億二千万円も当たるんじゃないかと期待しましたが、そうは問屋がおろされませんでした。

最後に、遅くなりましたが、スカパラ〝アサCHAN〟のコンガの写真ができたので、是非ご覧いただきたいと思います。では。

「プロフィール」京都生まれのアーティスト。大きい壁に描くのも大好き。自らのバンド『東京リズムキングス』も6月21日に〝ブガルー・フィーバー〟というミニアルバムをアポロンより発売。（定価¥2、000）7月21日はアナログレコードも発売される。